会報
Vol.49
2019年3月発行

ふくしまの多彩な情報を発信

ふくしまファンクラブ

Fukushima Fan Club

▶ 特 集

オーガニックコットンで浜通りの復興を目指す

▶ 県民熱愛グルメ

湖南町かりんとう

▶ 福島NEWS

ここなら笑店街

今月号の表紙 日中線記念自転車歩行者道のしだれ桜／喜多方市

日中線の跡、全長3キロの自転車歩行者道沿いに優雅に咲き誇る約1,000本のしだれ桜。4月中旬から下旬にかけて見頃を迎え、散策を楽しむ花見客でにぎわいます。毎年4月下旬には、ウォーキングイベントも開催されます。

special issue
特集

1. 畑で育てられている日本の在来種である備中茶綿。収穫量が少なく希少価値が高い。
2. いわき市内の子どもたちも栽培体験に参加している。実った綿収穫のお手伝い。
3. オーガニックコットンの普及に取り組む吉田さん（右）と栽培から販売までを行う酒井さん（左）。

オーガニックコットンで浜通りの復興を目指す

オーガニックコットンを新たな産業に

東日本大震災後に起きた原発事故。当時、福島県では、広がった放射性物質の影響により、農作物の廃棄に加え、浜通りでは生産者が農業を断念せざるを得ず、耕作放棄が後を絶ちませんでした。

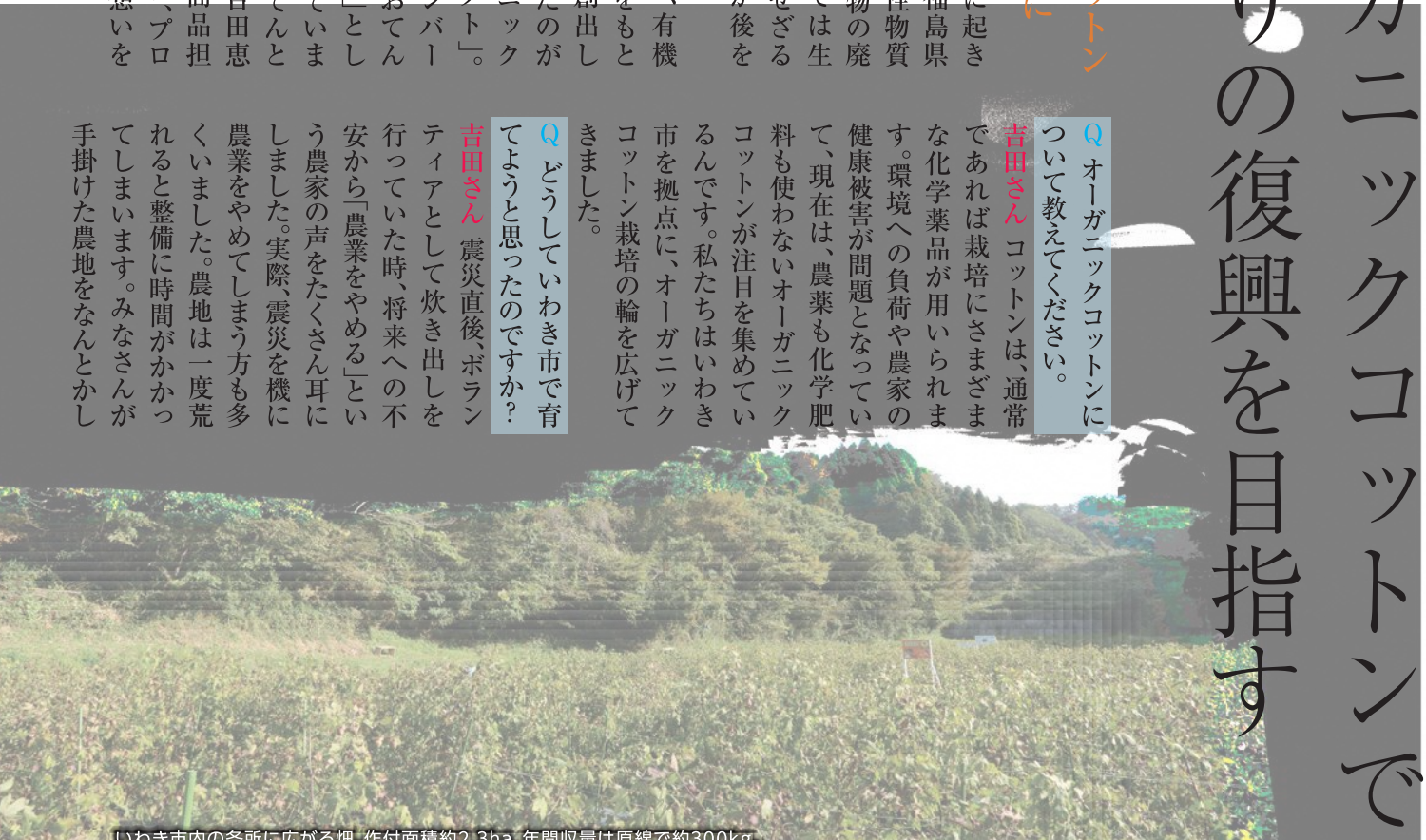
震災から1年後、有機農法で栽培する綿をもとに、新たな産業を創出しようと立ち上がったのが「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」。活動に共感したメンバーが集まり、「いわきおてんとSUN企業組合」として、取り組みを行っています。そんないわきおてんとSUN企業組合の吉田恵美子代表理事と、商品担当の酒井悠太さんに、プロジェクトにかける想いを伺いました。

Q オーガニックコットンについて教えてください。

吉田さん コットンは、通常であれば栽培にさまざまな化学薬品が用いられます。環境への負荷や農家の健康被害が問題となっていて、現在は、農薬も化学肥料も使わないオーガニックコットンが注目を集めているんです。私たちはいわき市を拠点に、オーガニックコットン栽培の輪を広げてきました。

Q どうしていわき市で育てようと思ったのですか？

吉田さん 震災直後、ボランティアとして炊き出しを行っていた時、将来への不安から「農業をやめる」という農家の声をたくさん耳にしました。実際、震災を機に農業をやめてしまう方も多くいました。農地は一度荒れると整備に時間がかかってしまいます。みなさんが手掛けた農地をなんとかし



いわき市内の各所に広がる畑。作付面積約2.3ha、年間収量は原綿で約300kg。

オーガニックコットンで浜通りの復興を進めたい

いわきおてんとSUN企業組合
代表理事 吉田 恵美子さん（右）
オーガニックコットン事業部
酒井 悠太さん（左）

2012年からオーガニックコットンの栽培と製品化を行っている団体。いわき市内の古民家を拠点とし、福島から新しい農業と繊維産業を生み出すことを目的に活動している。現在は、代表理事を務める吉田さんを中心に、オーガニックコットンの知名度向上や生産者育成などに取り組んでいる。収穫したコットンは酒井さんが中心となり、タオルやTシャツなどの日用品に加工。オンラインショップなどで販売している。

ガラ紡機や綿織り機を使ったワークショップにも参加できる（※要予約）。

て維持したいと考えた時、綿花栽培なら農地を維持できると気付いたんです。うまくいけば、いわき市の農業を再生させられるのではないかと考え、震災翌年の4月からオーガニックコットン栽培を始めました。

Q どういった商品を作っているんですか？

酒井さん オリジナルのTシャツ、手ぬぐい、バスタオルなどです。オンラインショップやイベントなどで販売しているほか、福島県内では道の駅よつくら港、いわき湯本温泉古滝屋、東京都内ではミッドタウンのワイス・ワイス トゥールスなどで購入できます。

肌触りが気持ちいい、洗濯してもくたびれないなどご好評をいただき、リピーターも増えていますね。

Q 現在実施している『オーガニックコットンツアー』について教えてください。

吉田さん 事前予約制の栽培体験です。コットンは5月に種をまくと、10月から年末の収穫時期まで作業が続きます。参加者には、この間のさまざまな農作業を体験していただきます。ご希望があれば、糸づくりや綿織りのワークショップを楽しむこともできますよ。

農業やコットン栽培の魅力に触れ、興味を持つ方が増えてくれるとうれしいですね。

Q 今後はどのような活動を考えていますか？

酒井さん みなさんのおかげで、事業を継続してこられました。今後は自社ブランドに力を注ぎ、規模を拡大していきたいですね。それには地元の若者の力も必要となってきます。ご協力をいただきながら、オーガニックコットンと私たちの活動が広く知られるように、ますます頑張っていきたいと思います。

Q 浜通りの農業に対する想いを聞かせてください。

吉田さん 浜通りには、まだ住民の帰還が進まないエリアもあります。また、帰還して農業を再開しても、動物に畑を荒らされるなど、なかなか思うようにいかない農家もあります。コットン畑はそうした獣害にも強く、農業を新しく始めたい、再開したいという方にも希望を与えられる作物のひとつ。

私たちの活動を通して、多くの方が農業やオーガニックコットンに興味を持つことで、少しでも早く浜通りの農業が再生することを願っています。いつかは、綿花の栽培地帯「コットンベルト」をつくっていきたいですね。

CHECK!

オンラインショップで
オーガニックコットンをゲット！

随時募集しています！
栽培体験コットンツアー

いわきおてんとSUN　検索

問 いわきおてんとSUN
0246-80-0662
※要予約

より道ふくしま！

YORIMICHI FUKUSHIMA

甘い香りに包まれて、ゆるりと楽しむ花旅

福島県の最北に位置する福島市。県庁所在地で、来年開催される東京オリンピックでは、野球・ソフトボール競技の開催地として注目を集めています。今回は、色鮮やかな花々が咲き誇る春にぜひ訪れてほしい、福島市のおすすめスポットをご紹介します。

1 花見山

日本を代表する写真家・故 秋山庄太郎氏が「福島に桃源郷あり」と毎年訪れていた花の名所。その美しさから一般開放され60年、春の福島を代表する観光スポットとして親しまれています。

問 福島市観光案内所・西口
024-531-6428

数種類のサクラ、レンギョウ、ボケ、モクレン、ハナモモなど色とりどりの花がいっせいに咲き競います。

花々で埋めつくされる花見山には、福島市内はもとより全国から多くの人々が訪れます。

県民熱愛♥グルメ

湖南町かりんとう

小麦粉ではなく米粉を使って作られる湖南町名物のかりんとう。お菓子が今のように手軽に手に入らなかった時代に、小さなくず米を粉にして作られ、各家庭でおやつとして食べられていました。小麦粉で作るよりも歯ごたえがあり、噛めば噛むほど旨みを感じる湖南町かりんとうは、生地を棒状に練って薄くスライスしてから揚げるので見た目が特徴的です。

そば屋や精肉店、糀屋など、町内5店で製造・販売されており、味もみそ、塩麹、ゴマなど店ごとに異なります。食べ比べも楽しい、地元の人たちに愛されているお菓子です。

問 郡山市湖南町観光協会　024-983-2117

花見山を見たら市内散策
福島市ならではの魅力発見！

花見山で花々を観賞した後は、東北で唯一のJRA競馬場へ。春の競馬開催日には、スペシャルゲストのトークショーや抽選会などさまざまなイベントが行われます。

ランチは「おいしくて思わず体がブルブル震える」という福島市名物「ふくしまブルブル」をいただきます！

旅の最後は福島の土産物が勢揃いする福島県観光物産館。ついつい買い過ぎてしまいそうなくらい、数多くの商品が並んでいます。

❷ 福島競馬場

迫力あふれるレース観戦を楽しめるほか、子どもに人気のアスレチックなどの遊具類も充実。家族連れでも1日中楽しめます。

問 福島競馬場
024-534-2121

来て・見て・遊んで楽しめる♪

❸ サイトウ洋食店

路地裏にたたずむ隠れ家的な洋食店で、自家製にこだわった人気のお店です。福島市名物「ふくしまブルブル」がおすすめ！

問 サイトウ洋食店
024-521-2342

ランチは混雑するので早めの来店がおすすめ！

ブルブルステーキ ▶

赤べこもいるよ！

日本一の「福島地酒」が飲み比べできます！

❹ 福島県観光物産館

福島県の観光と物産の情報発信基地。金賞受賞数日本一を誇る福島のおいしい日本酒や、赤べこなどの工芸品をはじめ魅力的な商品が並び、買い物や飲食ができる、いつ来ても楽しめる場所です。

問 福島県観光物産館
024-525-4031

ほっこり湯めぐり

母畑（ぼばた）温泉

緑深い山懐に抱かれた石川町の温泉郷。開湯は平安時代後期と言われており、とある伝説が残されています。源頼朝や義経の祖先にあたる八幡太郎義家（源義家）が奥州を訪れた際、戦いで負った馬の傷をこの地の谷川の水で洗ったところ、傷が数日で癒えました。これに感謝した義家は、身を守るための武具である母衣（ほろ）を捧げ、旗を立てて祀りました。これが母畑温泉の始まりと言われています。

ラジウム含有量は東北有数を誇り、伝説として残っているように古くから湯治に利用されています。神経痛、リウマチなどにも効果があると言われており、打ち身なら母畑へと言われるほど。現在は5軒の宿があり、日帰り入浴ができる宿もあるので、気軽に情緒あふれる名湯を堪能することができます。

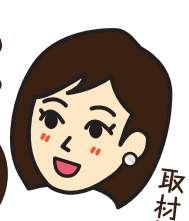
問 石川町観光物産協会　0247-26-9113

楢葉町
新産業創造室
渡辺 伶馬（わたなべりょうま）さん

一般社団法人
ならはみらい
木村 英一（きむら えいいち）さん

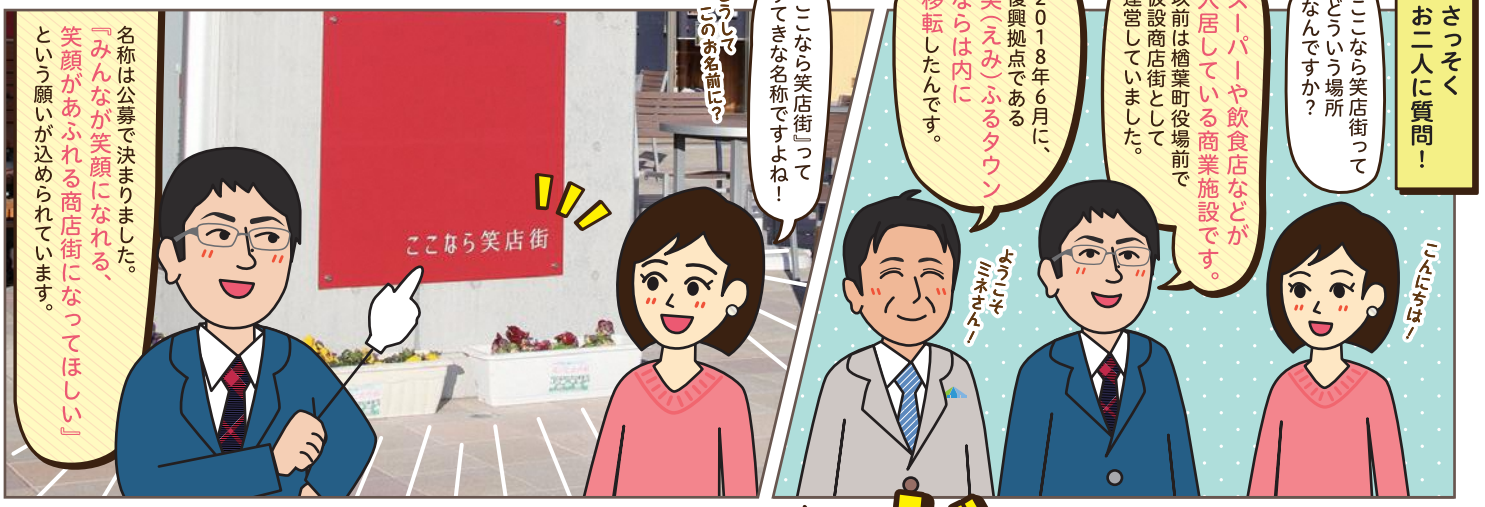
福島NEWS

第16回 ここなら笑店街（楢葉町）



取材担当
ミネ

県内の注目情報を紹介する“福島NEWS”
今回は楢葉町の商業施設「ここなら笑店街」についてお話を伺いました。



CHECK!

買い物の強い味方「楢葉町お買いものバス」

楢葉町が運営する巡回バスが走っており、毎週各地区の集会所などを回って「ここなら笑店街」へ送迎しています。無料で利用でき、移動手段を持たない高齢者を中心に利用されています。

楢葉町お買いものバス　検索

今回お話を聞いた団体はこちら

ここなら笑店街

楢葉町にある「笑ふるタウンならは」内にある商業施設。
一般社団法人ならはみらいが管理しています。

住　福島県双葉郡楢葉町大字北田字中満256番地
問　楢葉町新産業創造室　0240-23-6105
　　一般社団法人ならはみらい　0240-23-6771

ここなら笑店街　検索

FUKUSHIMA LIFE

ふくしまの くらし体験

農業体験 してみませんか？

「南会津ふるさとワークステイ」で農家暮らしを体験

野菜・果樹の収穫、稲刈りなど、参加者が体験したい内容に合った受入農家さんの家に滞在しながら、マンツーマンで農作業を体験できるプログラムです。就農や移住を考えている方のための実践的な「チャレンジコース（2泊3日～6泊7日）」のほか、初心者も大歓迎の「猫の手コース（日帰り～2泊3日）」があり、希望する日数に合わせて申し込みができます。

南会津地方振興局
移住コーディネーター
舟木（ふなき） 隆（たかし）さん

南会津地方は福島県の南西にあり、東京の東武浅草駅から日光や鬼怒川温泉を経て直通の特急列車が結ぶ、会津のもう一つの玄関口です。渓流釣りや登山、サイクリング、スキーなどアウトドアの楽しみも多彩。山々が広がる大自然の南会津でお待ちしています！

Eメール
iju-minamiaizu@pref.fukushima.lg.jp
問 0241-62-5207

CHECK!

農家に滞在しながら
農作業をお手伝い！

次回開催

［日程］2019年4月1日（月）～11月20日（水）
［人数］30名程度

南会津ふるさとワークステイ　検索

問 福島県南会津農林事務所企画部地域農林企画課
0241-62-5252

これまでの様子

トマトの名産地である南会津。栽培のコツを教えてもらいました！

初めての稲刈り体験も、農家さんが指導してくれるので安心。

南会津町でカラーやひめさゆりを栽培しています！

ふるさとワークステイ受入農家
月田農園
月田（つきだ） 禮次郎（れいじろう）さん　月田（つきだ） 洋子（ようこ）さん

下郷町で田舎暮らしを体験！

農園の様子（宿泊も可能）。

ピザ窯もあります。

お米作りも体験できます。

「クラインガルテン下郷」で悠々自適な農業ライフ！

クラインガルテン下郷は、年額30万円（月額2.5万円）で利用できる県内唯一の滞在型市民農園です。常駐の管理人や農業指導員からのサポートもあるので、農業初心者でも安心して取り組めます。利用者のライフスタイルに合わせて使用できるので、農業にチャレンジしてみたい方、田舎暮らしをしてみたい方は、ぜひお問合せください。現地見学も随時受付しています。

クラインガルテン下郷　検索

問 下郷町農林課農林係
0241-69-1188

2018年度 第1回

交流会「福島県ホープツーリズム」を開催しました！

福島県の浜通りを1泊2日で巡るツアーで、
震災からの復興の状況を視察したり、観光施設で体験や見学を行いました。

▲ 伝承鎮魂祈念館で震災当時の映像を視聴

▲ 夜はJヴィレッジで交流会

▲ ワンダーファームでトマト狩り

▲ アクアマリンふくしまで自由に散策

参加者からファンクラブ会員へのメッセージ

フラっとでもおいでなさい！
フクシマへ！！
フクシマには未来がつまっていますヨ！！
食良し、風景良し、人良し！
（田上朋子様）

ファンクラブに入って10年になりますが、8年前の飯坂温泉以来で良かったです。今後もツアーに参加したいです。
（M.U.様）

とてもいい旅行でした。次回もこういった企画があればぜひ参加することをおすすめします。『1泊はちょっと』という方は、日本橋ふくしま館MIDETTEに寄ってみてはいかがでしょうか。
（エミちゃん様）

とても勉強になりました。風評に負けず頑張っていきましょう。微力ながら協力したいと思います。Go challenge ふくしま！
（柏のコバさん様）

Jヴィレッジは、宿泊施設も大変きれいで食事もおいしく、とても良かったです。
（H.K.様）

水と緑が豊かなふくしまには、個性的でまだまだ魅力ある散策コースがたくさんあります。いろいろな顔をもっているふくしまの『お気に入り』エリアを見つけて、何度でも訪れたくなりました。
（Y.Y.様）

2018年度 第2回

交流会を開催しました！

日本橋ふくしま館MIDETTEにて、伝統工芸体験や、ゲストの本田よういーさんが作る福島県食材を使用した料理とふくしまのお酒を味わうなど、盛りだくさんの内容で交流会を楽しみました。
最後は参加者全員で記念撮影。笑顔あふれる交流会となりました。

▲ 奥会津編み組細工のストラップ作りに挑戦！

▲ 福島県ホープツーリズムの報告会も実施

▲ 最後は本田さんと一緒に記念撮影

ふくしまファンクラブ会員限定

Instagram 投稿キャンペーン結果発表！

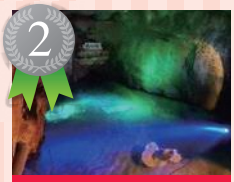
1月31日まで開催されたインスタグラム投稿キャンペーンには、期間中に約700件の投稿が寄せられました。
今回は寄せられた投稿の中から選ばれた、魅力的な写真とその投稿者を発表します。たくさんのご応募ありがとうございました！

ハッシュタグ「＃ふくしまファンクラブ」が付いた投稿には、当選した投稿以外にもたくさんの魅力的な写真やコメントがあり、2019年2月28日現在で投稿数は1,000件を超えています。皆さまからいただいた投稿は全てふくしまの応援メッセージ、ふくしまの宝です。ぜひインスタグラムでご覧ください。
今後も「＃ふくしまファンクラブ」を付けて投稿したり、「＃ふくしまファンクラブ」をフォローして、会員同士で素敵なふくしまの情報を交換してみましょう！

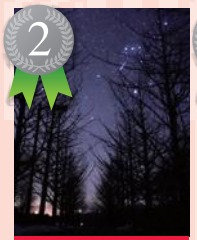
1 tsumizo 様

1 mikitoichikawa 様

2 shiratori_toru 様


2 mina_chibanyan_japan 様

2 buildup413 様


2 kumicho.0614 様

2 yamame_30 様

3 happy7xyz 様、tomop01e19 様、masamogul 様、suga_hap 様、inoc_12 様、ura0629 様、shinmer3 様、shie_na_ 様、yomo1735 様、dreamcatcher0813 様

（お願い）インターネットをご利用いただける方は、「利便性向上」や「環境保全」の観点からメール会員への移行をお勧めしています。会報誌をWebでご案内させていただくほか、毎月のメルマガにより旬な情報を得ることができます。（会報誌の発送は無くなります。）
移行希望の方は f.fanclub@pref.fukushima.lg.jp までご連絡ください。

編集・発行　ふくしまファンクラブ事務局　2019年3月発行
〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16 福島県地域振興課
TEL：024-521-8023　FAX：024-521-7912

ふくしまファンクラブ　検索

ふくしまファンクラブ会員数　17,426人
（2019.2.28現在）